

## 【公立小松大学】 隈研吾氏デザインによるアカデミックガウンが完成



アカデミックガウン ネイビー

### 1. 公立小松大学について

公立小松大学は、南加賀で初の4年制大学として2018年に開学しました。「生産システム科学科」「看護学科」「臨床工学科」「国際文化交流学科」の4学科からなる複合大学です(1学年定員240人)。課題解決型学修などのアクティブラーニングを積極的に取り入れ、高度な専門知識・能力を備え、地域と世界で活躍する人材の育成を進めています。教育研究や学生の課外活動を通して、地域の皆さまや企業などと連携を深め、地域の課題解決にも積極的に取り組んでいます。



### 2. アカデミックガウンの製作について(経緯)

今春、公立小松大学では初の卒業生を送り出します。「学位記授与式」令和4年3月23日(水) こまつ芸術劇場うらら大ホールで開催)

第1期生を送り出す記念すべきセレモニーの開催にあたり、アカデミックガウン<sup>※</sup>(Academic Dress)を取り入れることとしました。アカデミックガウンは、海外の大学では卒業式などの儀礼の際に教授や学生達が着用する衣服として定着していて、アカデミズムの象徴ともされています。学位記授与式の参加者が、アカデミックガウンを通して大学との一体感・連帯感を感じ、大学を誇りに感じられるものを準備したいと考え、見る人の記憶に残るオリジナルガウンの製作を行うことにしました。

＊ ＊

2021年4月、オリジナルのアカデミックガウンの製作にあたり、実習やインターンシップの受入等で本学の教育研究に日頃からご支援いただいている小松マテーレ(株)に協力を依頼し、建築家の隈研吾氏にデザインを打診したところ、快諾いただき、本プロジェクトがスタートしました。

2018年の開学年に入学した第1期生は、先輩がいないという環境の中、一人ひとりが日々模索や挑戦を積み重ね、「公立小松大学」を形作ってきました。まさに、学生の成長が大学の成長そのものであったと言えます。

隈研吾氏がアカデミックガウンをデザインするのは初の試みとのことですが、隈研吾氏のおこなった挑戦の姿勢は、本学の理念・活動と通ずるものがあり、本プロジェクトへの参画は、大変光栄なことと感謝しています。

＊ ＊

アカデミックガウンの製作には、小松マテーレ(株)にも多大なるご協力をいただきました。本プロジェクトのために、式服としてふさわしい格調と高級感を加えた素材が特別に開発され、本学のスクールカラーの「ネイビー」を表現いただきました。

「折り紙」をコンセプトとした隈研吾氏のデザイン、またそのデザインの魅力を最大限に引き出す素材により、初の学位記授与式に相応しい唯一無二のアカデミックガウンが完成しました。



アカデミックガウン(正面)



アカデミックガウン(側面)



アカデミックガウン(背面)

■ アカデミックガウンとは

欧米を中心に中世の頃から、大学など高等教育機関で着用されてきた伝統的な服装（セレモニーウェア）で、現在ではアジアを含む世界各国でアカデミズムの象徴として定着しています。

※本学の学位記授与式では、理事長・学長をはじめとする登壇者（来賓含む）、学生代表の約20人がアカデミックガウンを着用する予定です。

### 3. デザインコンセプトについて 隈研吾建築都市設計事務所

#### ○アジア人にも合う新しい形

アカデミックガウンは欧米から渡ってきた文化で、本来スーツやドレスに合わせるものと考えられます。一方、日本の大学生は卒業式で着物や袴で着飾ることも珍しくありません。また体型も欧米人と異なることから、新しい大学にふさわしい、新しいガウンの形状を作りたいと考えました。

#### ○折り紙

折り紙は、和紙でものを包み贈る作法であった折形を背景に発展してきたとされています。今回のアカデミックガウンはその折り紙の「包む」「折る」をキーワードに、四角い生地を折り重ね、切り込みを入れ、折り紙の様に身体を包むことで、卒業というおめでたい一日を清らかな気持ちでおくることが出来るようデザインいたしました。さらに、直線断ちの為、端材も最小限に抑えられます。



デザイン原型

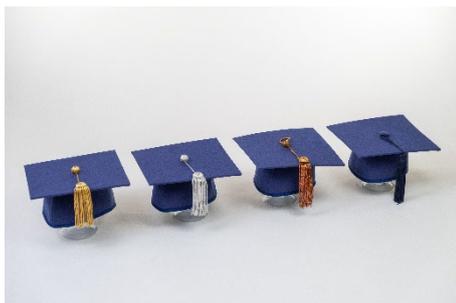
#### ○グレードの表現

理事長、学長、役員、来賓用のガウンにそれぞれ金、銀、銅を施し、意匠性を凝らしました。フードは三角形の生地を扇の様に折り返し、広げることで立体感を持たせております。学生用は地と同色のストライプを加え、意匠性を高めたシンプルなガウン。折り紙そのものの、無駄のない美しさを目指しました。



左から、金、銀、銅、ネイビー

また、帽子は記号的に、従来の形状を維持し、ガウン、フードと統一感を持たせる為生地をそろえております。また帽子のタッセルはガウンのストライプの色味と合わせています。



帽子



フード

#### 4. 素材開発・仕立てについて 小松マテーレ<sup>(株)</sup>

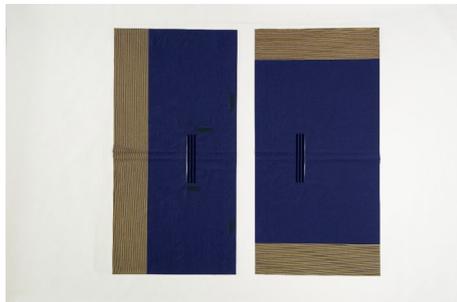
##### ○素材開発

デザインのコンセプト「折り紙」をファブリックで表現するのに適しているとの理由から、適度なハリ感を持つ小松マテーレの独自素材「KONBU（コンブ）」※を隈研吾氏に選定いただきました。

採用に至るまでの課題としては、式典などのフォーマルな場面において、従来の「KONBU」ではカジュアルな印象を与えてしまう点がありました。そこで、素材の加工条件を調整し、最大の特長である独特な質感を残したまま、式服として相応しい格調と高級感のある見た目を両立させました。さらに、小松大学のスクールカラーであるネイビーを、廃棄される様々な植物の天然成分を活用し染め上げ、化学染料とは異なる自然由来の優しい色合いを持たせました。

##### ○仕立て

実際の服づくりにおいては、隈研吾氏のデザインイメージを忠実に再現することに細心の注意を払いました。なるべくシンプルな作り方を選んでいますが、デザインのスピリットを尊重しつつも人間の身体に合わせ、着やすさや安定感が生まれるようにすることが最大のチャレンジでした。日本を代表する繊維産業の地である北陸地域のインフラを活用したものづくりの結果、今回のアカデミックガウンが誕生しました。



アカデミックガウン(展開)



アカデミックガウン(平置き)

※「KONBU」とは：

「KONBU」は、その名の通り、ナイロンファブリックを用いて海産品の昆布のようなドライ感・締めり感を持たせた当社のオリジナル素材です。しなやかでありながら、自立できる程の独特な硬度を持ち合わせており、さらに、しっかりとした見た目とは裏腹に、軽い点も特徴です。また、発色性が良く、色彩豊かに色を表現でき、洗濯によって風合いや機能が損なわれることはありません。

【記者発表に関する問い合わせ】

公立大学法人公立小松大学 総務課 (担当：中野、吉田)

石川県小松市土居原町 10-10 TEL：0761-23-6600 FAX：0761-48-3248

【素材、製作に関する問い合わせ】

小松マテーレ(株) 総務部広報課 (担当：土田、今西、西田)

石川県能美市浜町又 167 番地 TEL：0761-55-8070 (直) FAX：0761-55-8101

※デザインについての問い合わせは、小松マテーレ(株)までお願いします。